

人口減少期でも 持続可能なまちを目指して 2020年度施政方針を公表

佐藤光市長は市議会定例会初日の2月26日、2020年度の施政方針演説を行い、市政運営の基本方針を明らかにしました。本市は、今年をピークに人口減少期に転ずるものと推計しています。行政サービスの質や量を改めて見直した上で、事業の重点化を図り、市民のみなさんにとって真に必要なサービスを提供し続けることができるまちを目指します。

【企画経営課企画経営担当】

新たな行政課題への取り組み

目まぐるしく変化する社会に対して、従来の考え方にとらわれない発想で柔軟に対応していきます。また、まちづくりは行政だけで進めるものではありません。情報を積極的に発信し、市民のみなさんと共有することで信頼関係をより強固に築いていくとともに、さまざまな方がそれぞれの特性を生かして連携することで、まちの魅力を高めます。未来を担う子どもたちが希望を持つことができ、多様な世代が共に見守り、支え合いながら自分らしく暮らせるまちとなるよう取り組みます。

2020年度に予定している主要な事業

総合計画基本構想に掲げるまちづくりの基本理念別

※ 施政方針の全文は、市内の主な公共施設や市庁でご覧いただけます



2020年度施政方針

ひとづくり

227億1099万1000円

継続拡充 学びの場の創出事業

増加する小学生の保育需要を踏まえ、引き続き安全・安心な放課後の居場所づくりに取り組み、児童クラブの待機児童の効果的な解消を目指します。4月に開所する民設民営児童クラブ3か所の運営を支援する他、2021年4月の新規民設民営児童クラブ2か所の開所に向け、準備を進めます。



その他の主要な事業

- 子どもの未来応援対策
- (仮称)茅ヶ崎市歴史文化交流館整備事業
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた啓発事業

地域づくり

758億5916万3000円

継続拡充 包括的な相談支援体制の構築と権利擁護の推進

全ての住民が支え合いながら自分らしく生きることができる「地域共生社会」の実現を目指し、地域の方や専門機関などと連携を図りながら、困りごとを抱えた家族を包括的に支援する体制をつくります。併せて、成年後見制度の利用促進など権利擁護の推進を図ります。



その他の主要な事業

- 認知症関連事業
- 市立病院の経営健全化の推進に関する事務

暮らしづくり

70億9362万1000円

継続拡充 風水害対策事業

「逃げ遅れゼロ」を目指して、誰もが自らの判断で行動できるよう、洪水による浸水想定区域などを示したハザードマップの改定や、避難行動を整理するマイ・タイムラインの作成支援を引き続き行います。また、2019年の台風第19号を踏まえ、地域と連携した避難所運営を進めるなど、自助・共助・公助が連携した体制の強化を図ります。



その他の主要な事業

- 環境基本計画の進行管理・策定事務
- ごみ減量化に関する事業
- 消防の広域化の検討

まちづくり

179億2575万1000円

新規 漁港北側駐車場・多目的広場等整備事業

安全で効率的な漁業振興を図るため、今後の漁港施設用地の利用方法を定めた「漁港施設用地等利用計画」に基づき、漁港背後地に海岸来訪者も利用できる駐車場・多目的広場を整備します。

その他の主要な事業

- 下寺尾・堤周辺地区まち起こし事業
- 公共サインガイドライン推進事業
- 茅ヶ崎駅南口周辺道路整備事業
- 道の駅整備推進事業
- 観光地域づくり(茅ヶ崎版DMO)支援事業

行政経営

151億9299万2000円

継続拡充 ICT(情報通信技術)による業務効率化の推進

ICTの導入による業務効率化を推進する「デジタル・トランスフォーメーション推進方針」に基づき、ICTの最新動向を積極的に収集するとともに、他市事例の調査や実証実験などを実施します。効果が見込めるICTを導入することで業務の効率化を図り、市民サービスの向上につなげます。

その他の主要な事業

- 次期総合計画・実施計画の策定
- (仮称)河童徳利ひろば整備事業
- 本庁舎跡地周辺整備事業
- 茅ヶ崎市公文書等管理条例の施行に向けた取り組み